

年 表



1959年	NHK、朝日新聞社の後援により「オーストリアスキー教室」を開く。 故岩動洋二理事長(医師。次兄の故岩動道行は下科学技術庁長官)がオーストリア国立スキー学校より、フランツ・デルブル氏を招聘	1989年	スキービデオ「パワースキー入門全4巻」制作。ビデオ制作本格化 日奥国際スキー協会創立30周年記念事業「海外遠征」に70名が参加
1963年	スキー教室を恒久機関にするため、在日オーストリア大使を名誉会長に、茅誠司氏を会長に「日奥国際スキー協会」を設立	1990年	オーストリアスキー教室「菅平」を始める。オーストラリア、オーストリアから教師を迎える。 スキーツアー「ドロマテ・スーパースキーツアー」
1965年	オーストリアで「海外教室」開催⇒海外スキーツアーを始める。外人講師による英・独・仏語のサマーキャンプ「山麓外語教室」を始める	1991年	を始める⇒以降毎年2月に恒例化 テレビ番組「WOWOWスキーレッスン」制作、以降ロケ地をかえて毎年制作。事業部制に組織改変
1969年	「スキー教師海外留学制度」発足⇒現在までに、200余名が渡航	1993年	スキーツアー「USA・マウントバチュラー」を始める⇒以降毎年5月に恒例化
1971年	テニスクャンプの草分け「山麓テニス教室」開始	1994年	スキーツアー「ニュージーランド・チャレンジツアー」を始める⇒以降9月に恒例化
1975年	「山麓テニス教室」を「ナイスクテニス教室」に改称。仏製テニスウェアの販売(総販売元)事業「エリエツテ事務局」を始める	1995年	日奥国際スキー協会創立35周年記念「カナダツアー」。生徒100名、教師50名が参加
1976年	子供のスポーツクラブ「バフ・スポーツクラブ」を始める	1996年	スキーツアー「ツェルマット・クルージングツアー」を始める⇒以降2月に恒例化
1977年	スポーツメーカーの販売促進・企画運営を業務とする「E-PRODUCT」開設	1997年	(株)ジャパーナとスクール用具契約を結ぶ 新宿御苑から新宿曙橋へ会社移転
1978年	創立15周年記念事業「海外遠征」で200名がヨーロッパスキーツアーに参加⇒以降毎年11月に恒例化	1998年	ホームページ開設。国内スキー学校のなかで最高のアクセス数
1979年	岩動理事長死去のため改組、「株式会社ナイスク」設立。代表取締役任に松尾喬が就任	1999年	ビデオ「清水あきらのスキー絶対上達講座」制作 日奥国際スキー協会創立40周年記念事業「海外遠征合宿～フランス・ティーニュー～」に生徒100名、教師25名が参加。IT関連業務を企画立案をする
1981年	スポーツ用品販売事業「スポーツグッズ・ナイスク」を始める	2001年	ドットコム事業部開設
1983年	協和発酵(株)と提携「サントネージュ・テニス教室」を始める	2004年	スキービデオ「驚異のカービングスキー入門」制作 新宿曙橋から新宿御苑前へ会社移転 8校目の山形赤倉校を開校
1985年	メンバー制スポーツマルチクラブ「スポーツクラブ・ナイスク」を始める	2006年	日奥国際スキー協会 創立45周年記念事業
1986年	メンバー制スキーサークル「オーストリア・スキークルー」を始める。	2007年	「海外遠征～イタリア・チェルブニア～」に35名が参加。同時に教師合宿も開催 メールマガジン配信開始
1987年	単行本「並才強化フツのスキー(松尾喬著)」発行。		スキー上達BOOK(成美堂出版)制作。スキー書籍で久しぶりのベストセラーとなる ホームページが100万ビュー突破
1988年	出版活動本格化 スキー、テニス教室のメンバーシステム「クラブ・ナイスク」を始める スキーツアー「カナダ・skiホリディ」に36名が参加⇒以降毎年12月に恒例化 オーストラリアのスレドボスキースクールと教師交換を始める スキーツアー「オーストラリア・スキーホリディ」に10余名が参加⇒以降毎年8月に恒例化 スキー雑誌「ブラボースキー」に技術連載開始。 雑誌原稿制作活動本格化		「2010年、カナダ五輪の下見をしよう遠征」を12月に実施。同時に教師合宿も開催 教室紹介DVD作成、ミニ雑誌に添付して配布